

第11回戯曲づくりワークショップ

&リーディング発表会



講師：はせ ひろいち

(劇作家・演出家・劇団ジャブジャブサーキット代表)

受講生募集!!!

★定員25名(参加費2,000円)

*新規受付枠15名、継続受付枠10名(応募者多数の場合抽選)

裏面の応募用紙に必要事項(住所・氏名・連絡先・所属団体など)

をご記入の上、FAX・郵送にて岐阜市文化センターへお申込みください。

★募集期間

平成28年5月6日(金)～5月27日(金)

★講座日程 全11回(講座10回+発表会)

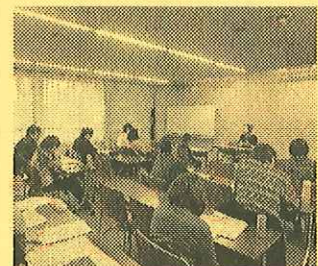
講座：13:00～15:30(予定)

第1回	6月11日(土)	第8回	11月5日(土)
第2回	6月25日(土)	第9回	11月19日(土)
第3回	7月16日(土)	第10回	12月3日(土)
第4回	8月6日(土)	第11回	1月7日(土)
第5回	9月17日(土)		「リーディング発表会」
第6回	10月15日(土)		会場：岐阜市文化センター
第7回	10月29日(土)		小劇場(入場無料)

※ワークショップ期間中に作成された戯曲の中から優秀作品数点を選び、1月7日の発表会でリーディングなどで舞台化します。
 ※上演作品にかかる権利は、原著者に帰属します。ただし、主催者の判断に基づき、上演・出版・掲載の際に使用させていただくことがあります。
 ※優秀作品は冊子化し、受講生に配布する場合があります。

ところで、どんな講座内容なの？

戯曲とは、お芝居やドラマの脚本のことです。大半を台詞のみで書かれた、ある種独特な文学です。この講座では、その特徴やちょっとした作法を伝えつつ、実際に生きた会話を書いていきます。もちろん短編からはじめますので初心者も大歓迎。皆さんの作品は、受講生の間で読み合ったり、講師がアドバイスをします。期間中に書いてもらった作品の中から数点を選び、講座の最後には「リーディング発表会」として上演します。希望者には当日の舞台に立っていただくコトも！



主催：(一財)岐阜市公共ホール管理財団・岐阜市 後援：岐阜県教育委員会

お問合せ：岐阜市文化センター 〒500-8842 岐阜市金町5-7-2

TEL：058-262-6200 FAX：058-262-6229 URL：http://gifu-culture.info

講師 はせひろいち プロフィール



劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表。

1960年岐阜市生まれの岐阜育ち。岐阜大学卒業後、岐阜新聞社に勤務し円満退社。以降、演劇畑に活動を絞るも「岐阜」からは何となく離れられず、知らぬ間に文化の地域発信に一役買っている。書き下ろし戯曲は110本を越す。観客との想像力共有を信じ、繊細な会話研究を武器に、演劇に残されたリアリティーと知的エンターテインメントを追求する。98年に第2回松原・若尾記念演劇賞。99年日本劇作家協会新人戯曲賞優秀賞。00年岐阜市芸術文化奨励賞。03年名古屋市芸術奨励賞。07年岐阜県芸術文化奨励賞など。また、過去に3回岸田戯曲賞の最終選考に残る。近年では外部集団への書き下ろし、テレビ、ラジオなどへのシナリオ提供、在京、在阪劇団からの外部演出依頼なども多い。現在、長久手市と岐阜市にて戯曲セミナー塾長、岐阜大学、静岡文化芸術大学、名古屋音楽大学にて非常勤講師など。日本劇作家協会会員。また昨年より日本演出者協会にて理事を務める。代表作に「非常怪談」「タイタニックポーカー」「高野の七福神」「アインシュタイン・ショック」「歪みたがる隊列」など。

申 込 用 紙

【住 所】〒		【性 別】		【年 齢】	
		男性 女性		歳	
【氏 名】フリガナ		【電話】		【携帯電話】	
		【fax】		【職業】	
【E-Mail】		【所属団体】			
「今までアナタが実体験したコトで、最も希少価値があると思われるコトは何ですか？」（タテ書き）					

*上記原稿をご記入の上、FAX (058-262-6229) もしくは郵送で岐阜市文化センター (〒500-8842 岐阜市金町5丁目7-2) までお送りください。
*上記の個人情報は当財団の事業のご案内以外には、使用いたしません。